

況ヲ呈シテ居ルガ然シ勞働者ハ決シテ惠マレテ居ナイ、勞働者ノ
心底カラ鬱勃トシテ反感ヲ生ジ表面ニ現ハレントシテ居ル、歴史
ハ流轉スル今カラ八十年前ベルリガ日本ヲ訪レタ、コレヲ轉期ト
シテ明治維新ヲ斷行シ、外國進取ヲ導イテ塞國狀態ヨリ急激ニ歐
化主義時代トナツタ。而シテ日本ハ外國ヨリ來ル文明ヲ總テ吸收
シ發展シ得タ。然シ日本ハ古來ノ本質ヲ失ヒ、コレト同時ニ勞働
運動モカ、ル傾向ヲ進ツタ。我々ノ運動ハドコマデモ日本のデナ
ケレバナラナイ、理論ト理論トノ闘争ハ決シテ組合ヲ強化スルモ
ノデハナイ、組合ノ強化發展ヲ期セントスルナラバ勞働者自己ノ
力ヲ以テ切り開イテ行カネバナラナイ諸君ハ確信ヲ以テ奮闘邁進
セラレントコトヲ祈ル

略ス
勤勞日本黨中央委員 瀧川 末一

一、祝電披露

關東合同神田支部
同 砂町支部
同 向町第一支部
同 第二支部
北陸合同労働組合
勤勞日本黨
大日本愛國同盟三宮支部
熊本 與市

一、各種委員任命

1、資格審査委員

吉田 篤司 (長) 池本 壽一 深澤一之進
小原長四郎 徳光 堅

2、法規委員

川端一二三 (長) 在里美佐夫 寺阪市太郎